

令和 8 年度第40回今別町植樹・育樹祭が開催されました

6月19日（金）に、今別小学校の緑の少年団やボランティアの町民など約100人が参加して「第40回今別町植樹・育樹祭」（今別町・竜飛今別漁業協同組合・十五日会主催）が開催されました。

この活動は緑豊かな今別町を守るため、今別町営スキー場跡地を植樹・育樹の場として活用して、昭和59年から行われています。

開会式では、阿部今別町長および山田青森森林管理署長より森林と海のつながりについての挨拶があり、緑の少年団代表2名が元気に「誓いの言葉」を宣誓したあと、参加者で植樹・育樹を行いました。



（阿部今別町長挨拶）



（山田森林管理署長祝辞）

今回は、ヒバの苗木を植樹しました。ヒバは1966年に青森県の県木として制定されており、県を象徴する代表的な樹木の1つです。今別町でも町の木として昔から親しまれています。

植樹は緑の少年団が中心となってい、硬くなった土に苦戦しながらも、笑顔を絶やさず元気いっぱい苗木を植えてくれました。

育樹（下刈）はボランティアの町民の皆様が中心となってい、熟練の技術により見事な手際で刈り取りが行われました。



(誓いの言葉)



(署職員による植樹指導)

今回の植樹・育樹祭に参加し、自然の大切さや森林の役割について改めて考える貴重な機会となりました。また、緑の少年団が小さな体で力いっぱい植樹する姿がとても印象に残りました。

参加者の皆様には、今回の体験を通して、森林・林業に関心を持ってもらえればと思います。



(植樹の様子①)



(植樹の様子②)

青森森林管理署では、地域の方々が森林にふれあう機会を継続的に提供できるよう活動してまいります。



(最後に記念撮影)